

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／資産複合	
信託期間	2009年10月9日(設定日)から2019年10月9日まで	
運用方針	ファミリーファンド方式で運用を行いマザーファンドへの投資を通じて、高水準の金利・配当収入の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	高金利投信マザーファンドの受益証券
	高金利投信マザーファンド	高金利国通貨建て債券、ユーロ建て・米ドル建ての優先出資証券およびユーロ円建て新株予約権付社債
主な組入制限	当ファンド	マザーファンドへの投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への実質投資割合(転換社債の転換、新株予約権の行使により取得した株券、社債権者割当または株主割当により取得した株券を除きます。)は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
	高金利投信マザーファンド	優先出資証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。株式への投資割合(転換社債の転換、新株予約権の行使により取得した株券、社債権者割当または株主割当により取得した株券を除きます。)は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。
分配方針	毎月9日(休日の場合は翌営業日)に、決算を行い、原則として、以下の方針に基づき、収益の分配を行います。 ①分配対象額は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とします。 ②毎年6月および12月(以下ボーナス月といえます。)を除く通常月の分配は利子・配当等収益の範囲で、委託会社が決定します。 ③ボーナス月の計算期末については、上記継続分配相当額に付加して分配する場合があります。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。	

高金利投信(毎月分配型)

追加型投信／海外／資産複合

運用報告書(全体版)

第16作成期

作成対象期間：2017年3月10日～2017年9月11日

第90期 決算日：2017年4月10日

第91期 決算日：2017年5月9日

第92期 決算日：2017年6月9日

第93期 決算日：2017年7月10日

第94期 決算日：2017年8月9日

第95期 決算日：2017年9月11日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼を申し上げます。さて、「高金利投信(毎月分配型)」は、2017年9月11日に第16作成期(第90期～第95期)の決算を行いました。

ここに、作成期中の運用状況と収益分配状況についてご報告申し上げます。

今後ともいっそうのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

キャピタル アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目16番1号いちご神田錦町ビル5階

< お問い合わせ先 >

【電話番号】 03-5259-7401

(受付時間：営業日の午前9時～午後5時)

【ホームページ】 <http://www.capital-am.co.jp/>

◆ 最近5作成期の運用実績

決 算 期		基 準 価 額			債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		
		円	円	%	%	百万円
第12 作成期	66期 2015年4月9日	9,970	30	0.2	83.4	65
	67期 2015年5月11日	9,810	30	△1.3	82.7	64
	68期 2015年6月9日	9,866	150	2.1	86.8	61
	69期 2015年7月9日	9,488	30	△3.5	86.0	59
	70期 2015年8月10日	9,713	30	2.7	86.3	60
	71期 2015年9月9日	9,149	30	△5.5	93.8	57
第13 作成期	72期 2015年10月9日	9,170	30	0.6	97.7	55
	73期 2015年11月9日	9,468	30	3.6	97.3	56
	74期 2015年12月9日	9,260	150	△0.6	98.8	55
	75期 2016年1月12日	8,853	30	△4.1	97.6	53
	76期 2016年2月9日	8,721	30	△1.2	97.4	52
	77期 2016年3月9日	8,459	30	△2.7	91.9	50
第14 作成期	78期 2016年4月11日	8,191	30	△2.8	89.5	49
	79期 2016年5月9日	8,102	30	△0.7	82.7	48
	80期 2016年6月9日	8,115	120	1.6	92.5	48
	81期 2016年7月11日	7,622	25	△5.8	97.4	45
	82期 2016年8月9日	7,904	25	4.0	93.6	47
	83期 2016年9月9日	7,865	25	△0.2	75.5	47
第15 作成期	84期 2016年10月11日	7,908	25	0.9	94.0	47
	85期 2016年11月9日	7,741	25	△1.8	93.8	46
	86期 2016年12月9日	8,292	120	8.7	94.9	49
	87期 2017年1月10日	8,459	25	2.3	94.9	50
	88期 2017年2月9日	8,259	25	△2.1	68.7	49
	89期 2017年3月9日	8,428	25	2.3	76.5	51
第16 作成期	90期 2017年4月10日	8,205	25	△2.3	76.0	49
	91期 2017年5月9日	8,384	25	2.5	72.8	50
	92期 2017年6月9日	8,160	120	△1.2	81.8	49
	93期 2017年7月10日	8,414	25	3.4	82.3	50
	94期 2017年8月9日	8,223	25	△2.0	86.9	49
	95期 2017年9月11日	8,152	25	△0.6	86.8	49

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 基準価額は1万円当たりです。(基準価額の全てに共通)

(注3) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注4) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

(注5) 当ファンドは、適切なベンチマークが存在しないため、ベンチマークを設けていません。

◆ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	騰 落 率	
第90期	(期 首)2017年3月9日	円 8,428	% —	% 76.5
	3月末	8,310	△1.4	76.1
	(期 末)2017年4月10日	8,230	△2.3	76.0
第91期	(期 首)2017年4月10日	8,205	—	76.0
	4月末	8,305	1.2	72.4
	(期 末)2017年5月9日	8,409	2.5	72.8
第92期	(期 首)2017年5月9日	8,384	—	72.8
	5月末	8,303	△1.0	80.8
	(期 末)2017年6月9日	8,280	△1.2	81.8
第93期	(期 首)2017年6月9日	8,160	—	81.8
	6月末	8,330	2.1	81.8
	(期 末)2017年7月10日	8,439	3.4	82.3
第94期	(期 首)2017年7月10日	8,414	—	82.3
	7月末	8,282	△1.6	86.8
	(期 末)2017年8月9日	8,248	△2.0	86.9
第95期	(期 首)2017年8月9日	8,223	—	86.9
	8月末	8,286	0.8	86.7
	(期 末)2017年9月11日	8,177	△0.6	86.8

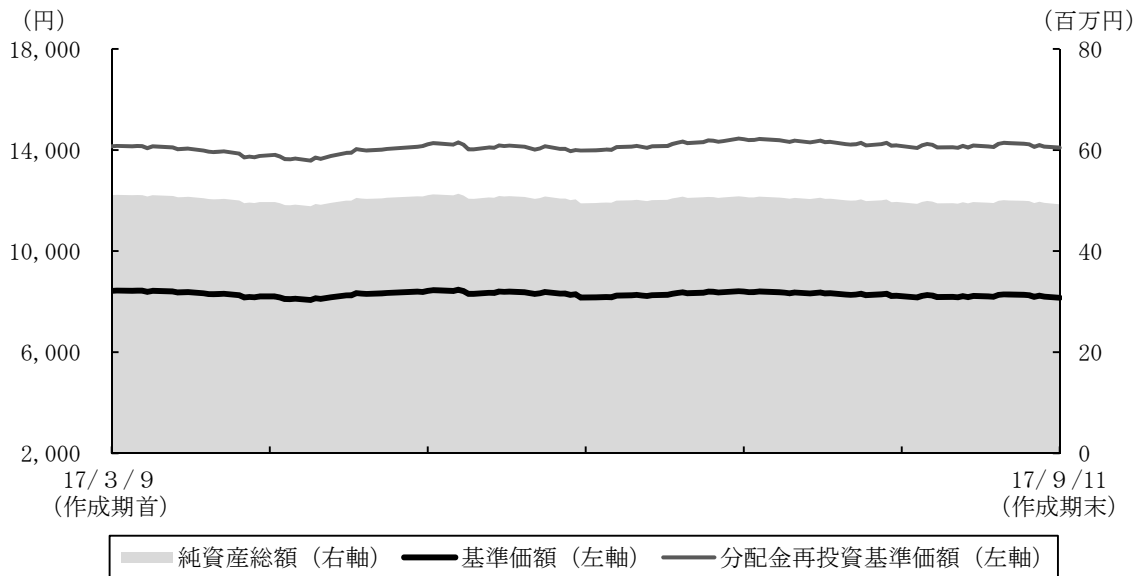
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注3) 当ファンドは親投資信託を組入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しています。

◆ 運用経過の説明 ◆

● 基準価額の推移 (2017年3月10日～2017年9月11日)



作成期首：8,428円

作成期末：8,152円 (当作成期分配金245円)

騰落率：△0.4% (分配金再投資ベース)

(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

● 基準価額の主な変動要因 (2017年3月10日～2017年9月11日)

高金利投信マザーファンドを通じて投資している米ドル建て優先出資証券等が+1.4%、ユーロ建て優先出資証券等が+0.5%、インドネシア国債が+0.5%、南アフリカ国債が+0.5%、それぞれ基準価額を変動させました（債券要因合計 +2.9%）。

また、為替変動では、米ドル/円が-1.7%、ユーロ/円が+1.3%、インドネシア・ルピア/円が-0.4%、南アフリカ・ランド/円が-0.4%、それぞれ基準価額を変動させました（為替要因合計 -1.2%）。

● 投資環境 (2017年3月10日～2017年9月11日)

【債券市場】

当作成期における米国債券市場は、堅調な雇用情勢を背景に米国連邦準備制度理事会（FRB）が3月と6月の2回利上げを行ったにも関わらず、トランプ政権の繰り出すオバマケア廃止等の経済政策が難航し、かつ北朝鮮問題等地政学リスクの高まりもあり、“質への逃避”による債券買いから、利回り低下（価格上昇）の動きが進行し、作成期首に2.56%であった米国10年国債の利回りは作成期末には2.05%（作成期中51bpの低下）となりました。

欧州では、4月に実施されたフランスの大統領選挙で親EU派のマクロン大統領が当選し、6月の英国総選挙では与党が敗北する等、反EUの動きは一旦沈静化し、経済的には“リスクオン”の動きが進み、ECBは金融緩和姿勢を維持しているものの、秋以降にはテーパリング（段階的緩和縮小）も意識される展開となりました。作成期首に0.37%であったドイツ10年国債は、基本的には米国の利上げを横にらみしながら上下動しましたが、作成期末にかけては北朝鮮問題など、地政学リスクの高まりから債券が買われ、0.31%まで利回りが低下して作成期末を迎えました（作成期中6bpの低下）。

ハイブリッド証券市場は、堅調な米国経済と欧州金融機関の不安払しょくを背景として、全般的に堅調に推移しました。

当作成期末における高金利主要国の10年国債利回りは、ブラジル9.71%（作成期中66bp低下）、南アフリカ8.41%（同25bp低下）、インドネシア6.46%（同97bp低下）といずれも金利低下となりました。

※1bp（basis point、ベーシスポイント）=0.01%

【為替市場】

当作成期中の為替市場は、一時は1.05ドル近くまで売られていたユーロが、トランプ政権の政策が難航する中、フランスのマクロン大統領の誕生等をきっかけに急騰した結果、米ドル／円は円高方向へ、ユーロ／円は大幅な円安に分かれる展開となりました。作成期首に114.60円だった米ドル／円レートは4月17日には108.29円まで円高が進みましたが、その後は米国の利上げ／日米金利差の拡大による円安と地政学リスクの高まりに伴う円高が繰り返され、作成期末の米ドル／円レートは108.44円（作成期中5.4%の円高／米ドル安）となりました。一方、作成期首に120.74円だったユーロ／円は、当作成期の前半こそ米ドル同様の動きで緩やかに円高が進みましたが、親EU派のマクロン大統領就任をきっかけに、4月17日の114.97円を底に急速にユーロが買われ、また6月の英国の総選挙で与党保守党が敗北し、ブレグジット交渉でも英国が強気に出られない情勢の中でユーロ買いが進み、作成期末のユーロ／円レートは130.26円（作成期中7.9%のユーロ高／円安）となりました。

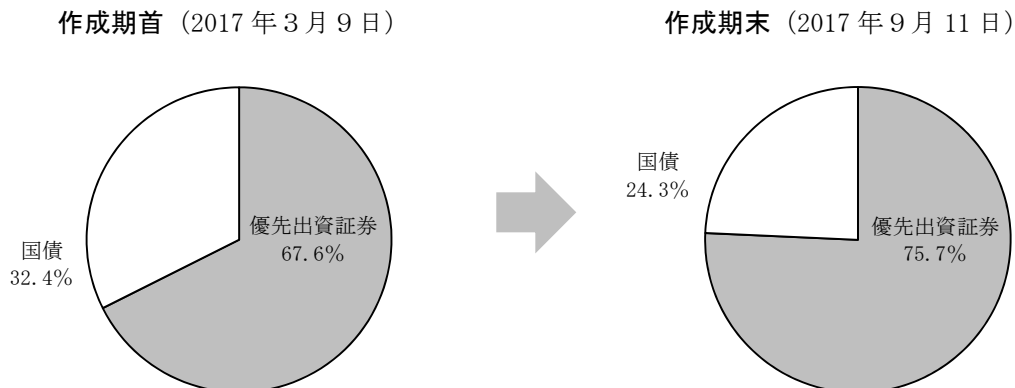
当作成期末における高金利主要国の為替レートは、ブラジル・レアル 2.8%、南アフリカ・ランド 3.8%、インドネシア・ルピア 4.7%、それぞれ現地通貨安／円高となりました。

● 当該投資信託のポートフォリオ (2017年3月10日～2017年9月11日)

当ファンドは、高金利投信マザーファンドを高位に組入れています。当マザーファンドは、前作成期末時点で、米ドル建て優先出資証券等に純資産の46%程度、ユーロ建て優先出資証券等に11%程度、インドネシア及び南アフリカの国債に合計で27%程度を投資していましたが、作成期中、一時政情不安が生じた南アフリカ国債を一部売却し、ポートフォリオの直利向上と組入比率の上昇を意図して、バークレーズのユーロ建て優先出資証券及びJPモルガン・チェースとバンク・オブ・アメリカの米ドル建て優先出資証券を買い増しました。

当作成期末における高金利投信マザーファンドのポートフォリオは、米ドル建て優先出資証券等を5銘柄で純資産の52.0%、ユーロ建て優先出資証券等が2銘柄で17.6%、インドネシア国債を12.1%、南アフリカ国債を10.2%、合計で9銘柄、91.9%の組入比率となっています。

【種類別比率の推移】



※マザーファンドにおけるポートフォリオに対する比率です。
※各比率の合計が四捨五入の関係で100%にならない場合があります。

● 当該投資信託のベンチマークとの差異

当ファンドは、ファンドの運用方針に対して適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

● 分配金

分配原資、基準価額水準等を勘案し、当作成期の分配金は以下の通り（1万口当たり・税引前）とさせていただきます。

留保益は、「基本方針」及び「運用方法」に基づいて運用します。

（単位：円、1万口当たり・税引前）

	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
	2017年3月10日～ 2017年4月10日	2017年4月11日～ 2017年5月9日	2017年5月10日～ 2017年6月9日	2017年6月10日～ 2017年7月10日	2017年7月11日～ 2017年8月9日	2017年8月10日～ 2017年9月11日
当期分配金 （対基準価額比率）	25 0.30%	25 0.30%	120 1.45%	25 0.30%	25 0.30%	25 0.31%
当期の収益	25	25	25	25	25	25
当期の収益以外	—	—	94	—	—	—
翌期繰越分配対象額	735	742	648	662	665	672

（注1）当期の収益は経費控除後の配当等収益および経費控除後の有価証券売買等損益、当期の収益以外は収益調整金および分配準備積立金です。

（注2）対基準価額比率は、当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注3）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金（税引前）と一致しない場合があります。

◆ 今後の運用方針 ◆

当ファンドは、高金利投信マザーファンドを通じて高金利国通貨建て（豪ドル、ニュージーランドドル、ブラジル・レアル、南アフリカ・ランド建て等）の国債、政府機関債、国際機関債、ユーロ建て・米ドル建ての優先出資証券などに投資するファンドです。投資にあたりましては、各国の経済状況、金利水準、市場の流動性などを考慮しながら、投資対象証券や投資比率を決定し、高水準の金利・配当収入の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。

現在、高金利投信マザーファンドは米ドル建て・ユーロ建ての優先出資証券等やインドネシア国債などに投資していますが、投資運用手法としては、バイ・アンド・ホールドを基本といたします。

今後の運用につきましては、現状のポートフォリオをベースにし、より有利な利回りの確保を行えるよう投資銘柄の選別と分散を推し進め、そのポートフォリオを維持して行く方針です。

◆ 当作成期中の1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 作 成 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	66円	0.797%	(a) 信託報酬＝作成期中の平均基準価額×信託報酬率です。なお、作成期中の平均基準価額は8,290円です。
(投 信 会 社)	(23)	(0.275)	・ 委託した資金の対価
(販 売 会 社)	(41)	(0.495)	・ 運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後のアフターフォローの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	・ 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	38	0.453	(b) その他費用は作成期中の金額を各月末現在の受益権口数の単純平均で除したものです。
(監 査 費 用)	(5)	(0.055)	・ 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(保 管 費 用)	(33)	(0.399)	・ 海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送回金・資産の移転等に要する費用
合 計	104	1.251	

(注1) 作成期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含まず。

(注2) 「比率」欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(注3) 各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

◆ 主要な売買銘柄 (2017年3月10日から2017年9月11日まで)

高金利投信マザーファンドにおける公社債の売買

当 作 成 期			
買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
パークレイズ 4.750% 2020/3/15	千円 2,444	南アフリカ国債 10.500% 2026/12/21	千円 1,854
JPモルガン・チェース 7.900% 2018/4/30	2,314		
バンク・オブ・アメリカ 8.125% 2018/5/15	1,754		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 利害関係人との取引状況等 (2017年3月10日から2017年9月11日まで)

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 組入資産の明細 (2017年9月11日現在)

親投資信託残高

種 類	作成期首	作 成 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
高金利投信マザーファンド	千口 28,945	千口 28,945	千円 46,490

(注1) 高金利投信マザーファンド全体の受益権口数は28,945,923口です。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 投資信託財産の構成 (2017年9月11日現在)

項 目	当 作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
高金利投信マザーファンド	千円 46,490	% 93.9
コール・ローン等、その他	2,994	6.1
投資信託財産総額	49,484	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.44円、100インドネシアルピア=0.82円、1南アフリカランド=8.39円、1ユーロ=130.26円です。

(注3) 高金利投信マザーファンドにおいて、第95期末における外貨建資産(45,547千円)の投資信託財産総額(46,490千円)に対する比率は、98.0%です。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第90期末	第91期末	第92期末	第93期末	第94期末	第95期末
	2017/4/10現在	2017/5/9現在	2017/6/9現在	2017/7/10現在	2017/8/9現在	2017/9/11現在
(A) 資 産	49,931,267円	51,019,762円	50,251,383円	51,054,584円	49,910,359円	49,484,365円
コール・ローン等	4,810,363	4,593,397	4,383,674	3,426,963	3,214,797	2,994,319
高金利投信 マザーファンド(評価額)	45,120,904	46,426,365	45,867,709	47,627,621	46,695,562	46,490,046
(B) 負 債	225,592	217,798	799,298	222,306	230,308	226,733
未払収益分配金	151,450	151,477	727,213	151,034	151,034	151,063
未払解約金	—	—	—	—	9,963	495
未払信託報酬	69,367	62,049	67,445	66,683	64,849	70,334
その他未払費用	4,775	4,272	4,640	4,589	4,462	4,841
(C) 純資産総額(A-B)	49,705,675	50,801,964	49,452,085	50,832,278	49,680,051	49,257,632
元 本	60,580,123	60,591,041	60,601,091	60,413,614	60,413,899	60,425,544
次期繰越損益金	△ 10,874,448	△ 9,789,077	△ 11,149,006	△ 9,581,336	△ 10,733,848	△ 11,167,912
(D) 受益権総口数	60,580,123口	60,591,041口	60,601,091口	60,413,614口	60,413,899口	60,425,544口
1万口当り基準価額(C/D)	8,205円	8,384円	8,160円	8,414円	8,223円	8,152円

<注記事項>当運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 第90期首元本額60,571,347円、第90期～第95期中追加設定元本額115,438円、第90期～第95期中一部解約元本額261,241円。

◆ 損益の状況

(第90期 2017年3月10日～2017年4月10日) (第93期 2017年6月10日～2017年7月10日)

(第91期 2017年4月11日～2017年5月9日) (第94期 2017年7月11日～2017年8月9日)

(第92期 2017年5月10日～2017年6月9日) (第95期 2017年8月10日～2017年9月11日)

項 目	第90期	第91期	第92期	第93期	第94期	第95期
(A) 配 当 等 収 益	△ 385 円	△ 320 円	△ 341 円	△ 281 円	△ 240 円	△ 232 円
受 取 利 息	—	—	—	1	—	—
支 払 利 息	△ 385	△ 320	△ 341	△ 282	△ 240	△ 232
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 1,125,997	1,305,461	△ 558,656	1,755,297	△ 931,866	△ 205,516
売 買 益	—	1,305,461	—	1,759,912	180	—
売 買 損	△ 1,125,997	—	△ 558,656	△ 4,615	△ 932,046	△ 205,516
(C) 信 託 報 酬 等	△ 74,142	△ 66,321	△ 72,085	△ 71,272	△ 69,311	△ 75,175
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A + B + C)	△ 1,200,524	1,238,820	△ 631,082	1,683,744	△ 1,001,417	△ 280,923
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△ 5,556,373	△ 6,908,347	△ 5,821,004	△ 7,149,606	△ 5,615,751	△ 6,768,133
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,966,101	△ 3,968,073	△ 3,969,707	△ 3,964,440	△ 3,965,646	△ 3,967,793
(配 当 等 相 当 額)	(1,583,852)	(1,584,677)	(1,585,427)	(1,582,899)	(1,583,570)	(1,584,397)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,549,953)	(△ 5,552,750)	(△ 5,555,134)	(△ 5,547,339)	(△ 5,549,216)	(△ 5,552,190)
(G) 合 計 (D + E + F)	△10,722,998	△ 9,637,600	△10,421,793	△ 9,430,302	△10,582,814	△11,016,849
(H) 収 益 分 配 金	△ 151,450	△ 151,477	△ 727,213	△ 151,034	△ 151,034	△ 151,063
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	△10,874,448	△ 9,789,077	△11,149,006	△ 9,581,336	△10,733,848	△11,167,912
追 加 信 託 差 損 益 金	△ 3,966,101	△ 3,968,073	△ 3,969,707	△ 3,964,440	△ 3,965,646	△ 3,967,793
(配 当 等 相 当 額)	(1,583,876)	(1,584,681)	(1,585,450)	(1,583,065)	(1,583,600)	(1,584,431)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 5,549,977)	(△ 5,552,754)	(△ 5,555,157)	(△ 5,547,505)	(△ 5,549,246)	(△ 5,552,224)
分 配 準 備 積 立 金	2,869,077	2,916,957	2,344,816	2,421,461	2,435,235	2,477,313
繰 越 損 益 金	△ 9,777,424	△ 8,737,961	△ 9,524,115	△ 8,038,357	△ 9,203,437	△ 9,677,432

(注1) (B)有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注3) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

◆ お知らせ ◆

該当事項はございません。

高金利投信マザーファンド

運用報告書

第16期

(決算日：2017年9月11日)

(作成対象期間：2017年3月10日～2017年9月11日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	親投資信託
信託期間	無期限（設定日：2009年10月9日）
運用方針	主として、高金利国通貨建て債券（国債、政府機関債、国際機関債、金融機関等が発行する債券等の公社債）、ユーロ建て・米ドル建ての優先出資証券およびユーロ円建て新株予約権付社債に投資することにより、高水準の金利・配当収入の確保と中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行います。
主な運用対象	高金利国通貨建て債券、ユーロ建て・米ドル建ての優先出資証券およびユーロ円建て新株予約権付社債
主な投資制限	優先出資証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

◆ 最近5期の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		期 中 騰 落 率		
	円	%	%	百万円
12期 2015年9月9日	15,350	△ 4.9	94.5	65
13期 2016年3月9日	14,796	△ 3.6	92.1	50
14期 2016年9月9日	14,317	△ 3.2	76.0	46
15期 2017年3月9日	15,977	11.6	84.4	46
16期 2017年9月11日	16,061	0.5	91.9	46

(注1) 基準価額は1万円当たりです。(基準価額の全てに共通)

(注2) 純資産総額は単位未満切捨て、騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

(注3) 適切な比較指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載していません。

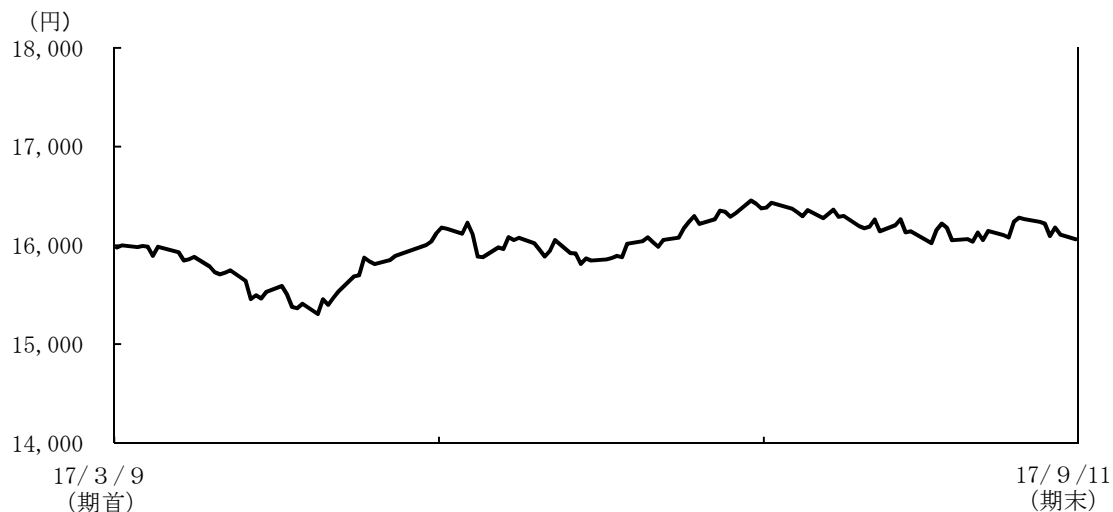
◆ 当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率
		騰 落 率	
(期 首)	円	%	%
2017年3月9日	15,977	—	84.4
3月末	15,748	△ 1.4	84.0
4月末	15,811	△ 1.0	79.7
5月末	15,887	△ 0.6	88.4
6月末	16,218	1.5	88.0
7月末	16,195	1.4	92.6
8月末	16,280	1.9	92.2
(期 末)			
2017年9月11日	16,061	0.5	91.9

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 騰落率・組入比率は小数第2位を四捨五入しています。

◆ 基準価額の推移 (2017年3月10日～2017年9月11日)



◆ 1万口(元本10,000円)当たりの費用明細

項 目	当 期
(a) そ の 他 費 用	69円
(保 管 費 用)	(69)
合 計	69

(注) 費用項目の概要及び注記については、8頁の費用明細をご参照下さい。

◆ 期中の売買及び取引の状況 (2017年3月10日から2017年9月11日まで)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	優先出資証券	千米ドル 36	千米ドル -
	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド -	千南アフリカランド 222
国	ユーロ その他	優先出資証券	千ユーロ 19	千ユーロ -

(注1) 金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれていません。)

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 主要な売買銘柄 (2017年3月10日から2017年9月11日まで)

公社債

買 付		売 付	
銘 柄	金 額	銘 柄	金 額
パークレイズ 4.750% 2020/3/15	千円 2,444	南アフリカ国債 10.500% 2026/12/21	千円 1,854
JPモルガン・チェース 7.900% 2018/4/30	2,314		
バンク・オブ・アメリカ 8.125% 2018/5/15	1,754		

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。

◆ 利害関係人との取引状況等 (2017年3月10日から2017年9月11日まで)

当期中における利害関係人との取引はありません。

(注) 利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◆ 組入資産の明細 (2017年9月11日現在)

(A) 外国 (外貨建) 公社債の種類別開示

区 分	額面金額	当 期 末						
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
ア メ リ カ	千米ドル 207	千米ドル 222	千円 24,178	% 52.0	% —	% 52.0	% —	% —
イ ン ド ネ シ ア	千インドネシアルピア 600,000	千インドネシアルピア 686,310	5,627	12.1	—	—	12.1	—
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 500	千南アフリカランド 567	4,757	10.2	—	10.2	—	—
ユ ー ロ	千ユーロ	千ユーロ						
そ の 他	62	62	8,179	17.6	—	17.6	—	—
小 計	62	62	8,179	17.6	—	17.6	—	—
合 計	—	—	42,742	91.9	—	79.8	12.1	—

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注3) 単位未満は切捨て。

(注4) —印は組入れなし。

(B) 銘柄別開示

銘 柄	種 類	年 利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)		%	千米ドル	千米ドル	千円	
バンク・オブ・アメリカ 8.125% 2018/5/15	優先出資証券	8.125	60	61	6,712	—
シティグループ 5.950% 2025/5/15	優先出資証券	5.950	46	48	5,256	—
HSBC 10.176% 2030/6/30	優先出資証券	10.176	15	23	2,595	—
JPモルガン・チェース 7.900% 2018/4/30	優先出資証券	7.900	65	66	7,265	—
ウェルズ・ファアゴ 7.980% 2018/3/15	優先出資証券	7.980	21	21	2,348	—
通貨小計			207	222	24,178	
(インドネシア)		%	千インドネシアルピア	千インドネシアルピア	千円	
インドネシア国債 11.000% 2020/11/15	国債証券	11.000	600,000	686,310	5,627	2020/11/15
通貨小計			600,000	686,310	5,627	
(南アフリカ)		%	千南アフリカランド	千南アフリカランド	千円	
南アフリカ国債 10.500% 2026/12/21	国債証券	10.500	500	567	4,757	2026/12/21
通貨小計			500	567	4,757	
ユーロ (その他)		%	千ユーロ	千ユーロ	千円	
パークレイズ 4.750% 2020/3/15	優先出資証券	4.750	40	39	5,193	—
ドイツバンク 8.000% 2018/5/15	優先出資証券	8.000	22	22	2,985	—
国 小 計			62	62	8,179	
通貨小計			62	62	8,179	
合 計					42,742	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

(注3) 銘柄の()内は、発行通貨の国名を記載しています。ただし、ユーロの場合は発行地または上場取引所の国/地域に基づき分類された国名を記載しています。うち、ユーロ圏以外の発行地または上場取引所の国/地域の銘柄については、「ユーロ (その他)」としています。

(注4) 償還年月日の「—」は永久債です。

◆ 投資信託財産の構成 (2017年9月11日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 42,742	% 91.9
コール・ローン等、その他	3,747	8.1
投資信託財産総額	46,490	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、9月11日における邦貨換算レートは、1米ドル=108.44円、100インドネシアルピア=0.82円、1南アフリカランド=8.39円、1ユーロ=130.26円です。

(注3) 当期末における外貨建資産(45,547千円)の投資信託財産総額(46,490千円)に対する比率は、98.0%です。

◆ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2017年9月11日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資 産	46,490,134円
コール・ローン等	2,766,510
公社債(評価額)	42,742,592
未 収 利 息	906,557
前 払 費 用	74,475
(B) 純 資 産 総 額	46,490,134
元 本	28,945,923
次 期 繰 越 損 益 金	17,544,211
(C) 受 益 権 総 口 数	28,945,923口
1万口当り基準価額(B/C)	16,061円

<注記事項>

- (1) 期首元本額 28,945,923円
 期中追加設定元本額 -円
 期中一部解約元本額 -円
- (2) 期末における元本の内訳
 高金利投信(毎月分配型) 28,945,923円

◆ 損益の状況

当期：自2017年3月10日 至2017年9月11日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	1,413,303円
受 取 利 息	1,414,359
支 払 利 息	△ 1,056
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	△ 974,659
売 買 益	1,077,218
売 買 損	△ 2,051,877
(C) 信 託 報 酬 等	△ 195,192
(D) 当 期 損 益 金 (A + B + C)	243,452
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	17,300,759
(F) 合 計 (D + E)	17,544,211
次 期 繰 越 損 益 金 (F)	17,544,211

(注1) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) (C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

◆ お知らせ ◆

該当事項はございません。